

ご挨拶

湖風会会長 中川 富美江



「工学部学友会」第七回総会の開催 おめでとうございます。

滋賀県立大学同窓会「湖風会」工学部支部「工学部学友会」は、会員相互の交流と親睦を図り、滋賀県立大学工学部の発展に寄与することを目的とする。として、「湖風会」の学部支部として4学部の中でいち早く2011年11月に立ち上げられました。また、その目的を達成するため (1) 会員と県立大学工学部との連携推進 (2) 会員相互の交流・親睦の連携推進 (3) 県立大学工学部の活動支援 (4) その他本会の目的を達成するための事業とされ、滋賀県立大学工学部と連携してホームカミングデーの開催や就職支援一環としての企業訪問活動等、親睦関係では各種同好会活動（テニス・ゴルフ・ウォーキング&小旅行・カラオケ・プチスポ・フォト）を活発に実施されておられます。役員会やホームページ等の中で拝聴・拝見させていただいております。

私こと、2023年6月の「湖風会」総会において、矢吹会長のあとの4代目の会長としてご承認をいただき就任させていただきました。「湖風会」の組織では、人間看護学部支部に属し、1973年（昭和48年）滋賀県立短期大学看護部看護学科を一期生として卒業しました。2006年に「湖風会」が設立されるまで、当時の工業部同窓会の役員様の主導で、実に6年余り統合に向けての話し合いを続けてきたことを、大変でしたが昨日のこのように思い出しております。

歴史を重ねる中で「工学部学友会」の活動は、いつも「湖風会」の先進として取り組まれておられることに敬意を表しております。

そんな中、2023年7月6日（木）に実施された、滋賀県栗東市にある(株)イシダ滋賀事業所（スナック類や水産品、乳製品など計量包装作業の自動化や省力化などの機械開発・製造メーカー）の会社見学会に同行させていただきました。保健や看護の世界にいた私には初めての経験でした。生活に密着した計量の事でしたので興味深く見学させていただきました。現学生と卒業生をつなぐ交換会では、2人の先輩が出てくださり、その上席のほうの先輩が私と同郷で名前を知っていたこともあり、その卒業生たち（同窓生）が熱く会社や自身の研究のことを話される姿に嬉しく頼もしく感じました。この場をお借りして同行させていただいたことに感謝いたします。

さて、2019年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、実に4年もの間社会活動等が制限され、医療もひっ迫し多数の命が奪われました。2023年5月8日から感染症分類が5類になったとは言え、まだまだ感染者も出ており油断はできません。我が「湖風会」の活動も同様に制限を受け活動が出来ませんでした。2022年ころからぼちぼちと恐るおそる活動を再開し、2023年度に入っからは世の中同様少しずつコロナ前の活動に準じてきました。

2024年度いよいよ本格的に活動が始まりました。私たちの「湖風会」は、学部支部や地域支部を主体とする会員相互の交流を図ること、母校の滋賀県立大学との連携強化による学生支援や社会貢献を活動の中心としております。

いつも大学支援や就職支援、交流活動に先陣を切って取り組んでくださる「工学部学友会」の皆さまとともに、大学と十分に連携し、貢献できる「湖風会」を目指していきたいと思っております。

「工学部学友会」の皆さまの一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。